

## 川崎市王禅寺処理センターが「自然共生サイト」に認定されました！

川崎市王禅寺処理センター（麻生区王禅寺）が、生物多様性の保全が維持されている場所として、主務大臣（環境大臣、農林水産大臣及び国土交通大臣）から「自然共生サイト」として認定されました。本市内では3番目、**市有地としては初めての認定**になります。

これは、川崎市北部のごみ処理の基幹的役割を担う施設である王禅寺処理センターの敷地の一部（約0.38ha）において、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場などの価値が3月17日に認定されたものです。

本市では、「人と自然が共生する幸福な社会」の実現に向け、目標とすべき「みどりの将来像」を描き取組を進めようとしているところであり、その取組の一つに、生物多様性の保全が図られている区域である「自然共生サイト」の拡大なども含まれます。今後も引き続き生物多様性の保全に向けた取組を推進してまいります。

### 1 背景

世界的に生物多様性の損失が続く中、国では「自然を回復軌道に乗せるために、生物多様性の損失を止め反転させるための緊急の行動をとること」、いわゆる**ネイチャーポジティブ**をミッションとし、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標（30by30）<sup>サー・バイ・サーティ</sup>を掲げています。

本市では、令和7年4月、川崎市市制100周年の象徴的事業である「第41回全国都市緑化かわさきフェア」の閉会式において、100年先の未来への誓いとなる、「みどりのKAWASAKI宣言」を行い、ともに暮らし、働き、学ぶすべての人とともに、つながりの輪をさらに広げ、新たなステージへと歩みを進めていくことを宣言し、「**人と自然が共生する幸福な社会**」の実現に向け、**目標とすべき「みどりの将来像」を描き取組を進めているところ**です。その取組の一つとして、**生物多様性の保全が図られている区域である「自然共生サイト」の拡大**に取り組んでいます。

この度、敷地内の在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系保全などに関する計画が認められ、川崎市王禅寺処理センターが「自然共生サイト」として認定を受けるに至ったものです。

認定日は令和8年3月17日、認定期間は令和13年3月までの5年間となります。



自然共生サイト認定ロゴマーク

### 2 認定された場所及びその価値

(1) 認定された場所 **川崎市王禅寺処理センター**（麻生区王禅寺1285）敷地内の一部（約0.38ha）  
（希少な動植物種保全及び安全管理上、**認定地の詳細な場所は公開していません**）

(2) 認定された価値

- ・**里地里山**といった二次的な自然環境に特徴的な生態系が存する場
- ・**生態系サービス提供の場**であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場
- ・**希少な動植物種が生息生育**している場あるいは生息生育している可能性が高い場



川崎市王禅寺処理センター

#### 問合せ先

（自然共生サイト及び今回の認定全般に関すること）

川崎市環境局総務部企画課 内田 電話 044-200-2385

（環境学習施設に関すること）

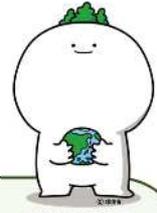
川崎市環境局施設部処理計画課 池田 電話 044-200-2586

（王禅寺処理センターに関すること）

川崎市環境局施設部王禅寺処理センター 佐久間 電話 044-966-6135

### 3 ネイチャーポジティブ実現に向けた市内の自然共生サイトの拡大について

川崎市王禅寺処理センターの認定を契機に、市内事業者など様々な皆様に参加をいただきながら、**市内の生物多様性の保全が図られている区域の維持、回復、創出**を図り、**市内の自然共生サイトの拡大**に向け、引き続き取り組んでいきます。



© 環境省

#### ◎ 「自然共生サイト」とは？

ネイチャーポジティブの実現、30by30 目標の達成に向けた取組の 1 つとして「**生物多様性の保全が図られている区域**」を「**自然共生サイト**」として、国が令和 5 年より認定を開始したものです。

令和 7 年 4 月からは「**地域生物多様性増進法\***」が施行され、法に基づき計画した活動の実施区域を主務大臣が「**自然共生サイト**」として認定しています。

「**自然共生サイト**」は、良好な生物多様性が既に存在する場のほかに、過去に生物多様性が豊かであった場や生物多様性を欠いている場において、生物多様性を回復、創出する活動も認定されます。

本市では「**自然共生サイト**」を増やし、**みどりのつながりや持続的な生物多様性の保全を目指します**。

※地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律

**自然共生サイト等の関連情報** は Web サイトを御覧ください。

・自然共生サイト（環境省）

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>



・生物多様性「見える化」マップ（環境省）

<https://www.biodiversitymap.env.go.jp/>



全国の自然共生サイトの認定例が確認できます

#### (参考) 本市内で認定されている自然共生サイト

本市内では、この度認定された川崎市王禅寺処理センター以外に、「自然共生サイト」として既に 2 か所認定されています。**※許可なく敷地内へ立ち入ることはできません。一般の方の見学もできません。**

(1) 麻生区 **学校法人桐光学園中学校・高等学校** ホトケドジョウのピオープと雑木林

土地開発に伴い減少したホトケドジョウの保護および繁殖（域外保全）の場としてのピオープの維持、及び敷地内に残る樹林地保全を行い、それらを教育の場としても活用しています。

(2) 川崎区 **花王株式会社川崎工場**

草地や樹林などからなる緑地内に、多数の植物、鳥類、昆虫類などが確認されており、緑地の少ない工場地帯において、多様な生き物の生育、生息基盤として重要な役割を果たしています。

今回認定された川崎市王禅寺処理センター敷地内には、**自然共生についても学ぶことができる環境学習施設（王禅寺エコ暮らし環境館）**や屋上庭園、遊歩道及び緑地広場が整備され、市民の皆様には開放しています。

王禅寺エコ暮らし環境館には、資源循環ゾーン、温暖化対策ゾーン、自然共生ゾーン、総合学習ゾーンの 4 つの展示ゾーンがあり、環境問題・エネルギーの問題・自然と生き物たちについて学ぶことで、わたしたちが日々の生活の中で出来る取り組みについて学習することができます。

今回認定を受けたような自然豊かな緑地や里山などにおける、守るべき生き物たちの環境なども知ることができますので、ぜひお立ち寄りください。

**環境学習施設の詳細**は Web サイトを御覧ください。

<https://www.eco-kankyoukan.jp/>

